

---

# 個人投資家様向け説明会

2011年12月18日



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

証券コード：8732

---

- I. FXとは
- II. マネーパートナーズグループのご紹介
- III. 当社グループの収益構造、特徴と強み
- IV. 業績の推移
- V. 経営戦略
- VI. 当社の経営目標及び株主還元について

参考資料

# I. FXとは

---





# 外国為替証拠金取引（FX取引）の仕組み

1ドル=80円の場合

ドル高・円安と予想

ドル安・円高と予想

ドル/円を1万通貨単位『買い』

ドル/円を1万通貨単位『売り』

ドル高・円安  
の進行

(為替レート)

1ドル=81円  
(値上がり)

売り=1万米ドル  
(円換算81万円)

81万円-80万円=  
1万円の利益

レバレッジ5倍の場合は、証拠金16万円で1万円の差益を獲得

ドル安・円高  
の進行

(為替レート)

1ドル=79円  
(値下がり)

買い=1万米ドル  
(円換算79万円)

80万円-79万円=  
1万円の利益

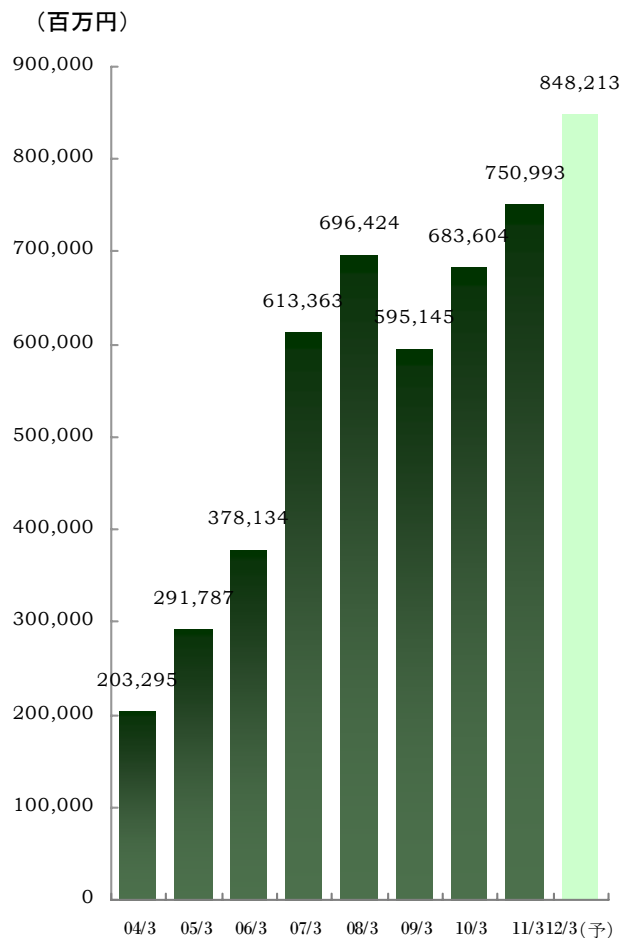
レバレッジ10倍の場合は、証拠金8万円で1万円の差益を獲得

どちらからでも  
取引開始が可能

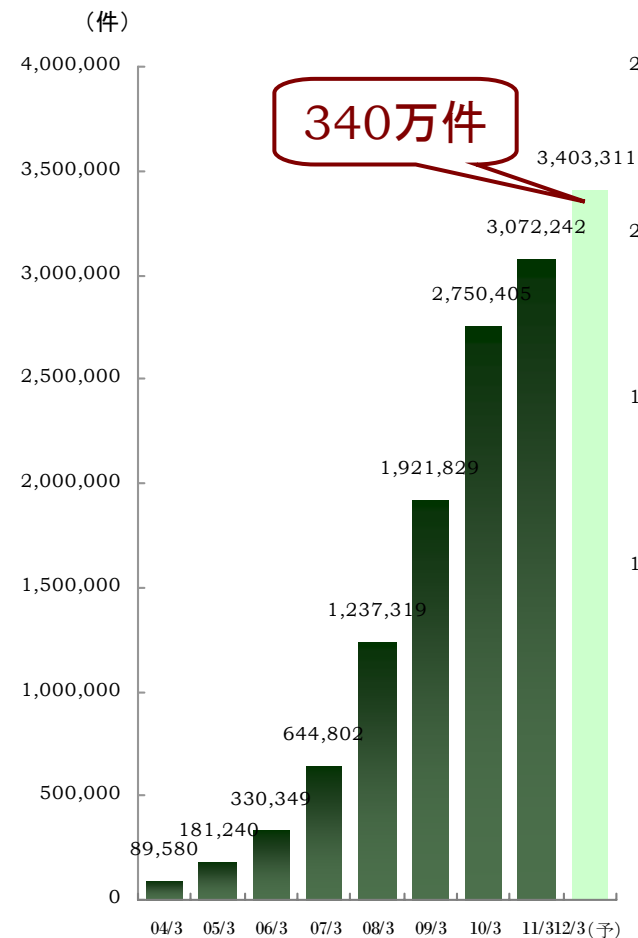
# 外国為替証拠金取引（FX取引）市場について

取引高については証拠金規制により減少したものの、今後はFX市場の透明化の進展に伴い預り証拠金、口座数も順調に拡大する見込

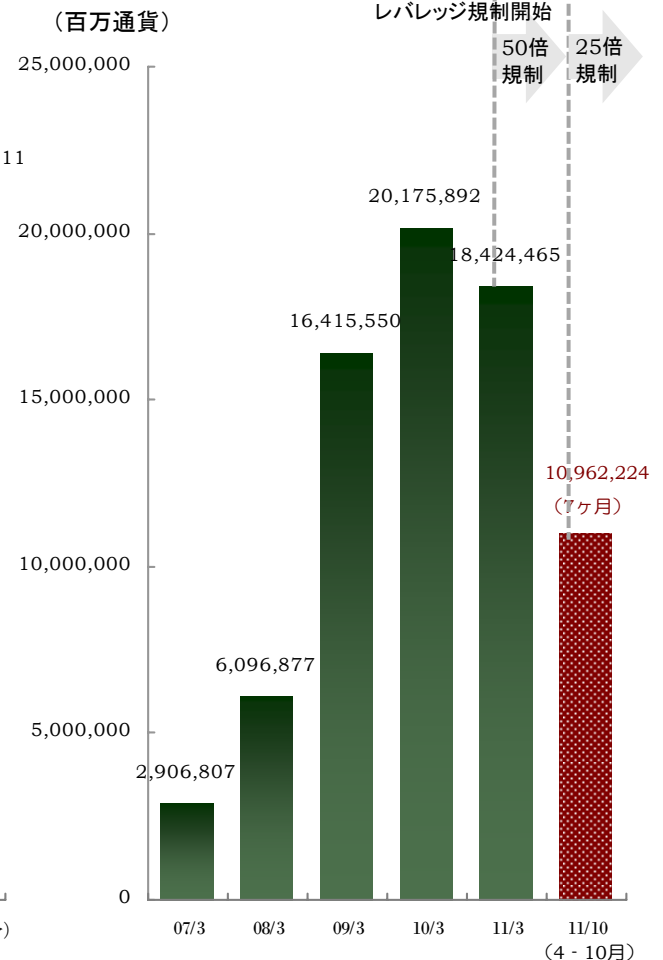
【預り証拠金推移】



【口座数推移】



【取引高推移】



矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2010※」より当社作成 ※対象は店頭取引のみ

# 外国為替証拠金取引（FX取引）の可能性

パスポート（一般旅券）発行数  
（2010年1月～12月累計）

418万件

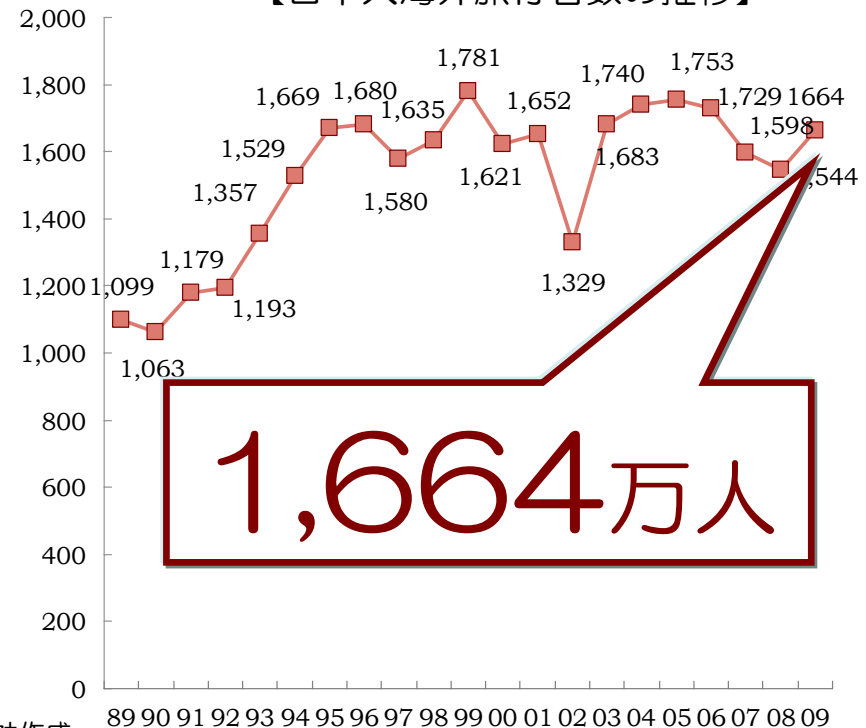
パスポート有効旅券数  
（2010年12月28日現在）

5年旅券 761万人分  
10年旅券 2,231万人分

計 2,992万人分

※外務省「旅券統計（平成22年1月～12月）」より当社作成

【日本人海外旅行者数の推移】



※平成22年版観光白書より当社作成



FX取引の潜在顧客となりうるユーザーは、約3,000万人以上  
FXの透明化・一般化に伴い、市場は更なる拡大の可能性も



Money Partners Group

## 今後のFX業界

より一層の整備が図られるFXマーケット

レバレッジ  
規制の施行  
(2010年8月施行)

&

ロスカット  
ガイドライン制定

&

広告規制の強化

透明化・健全化の更なる進展



店頭取引についても

平成23年度税制改正法案（うちFXに関連する部分）

「申告分離課税の適用（一律20%）」 「繰越損失控除が3年間可能に」

2012年1月決済分より適応

金融商品としてのメリットUPの可能性



## Ⅱ. マネーパートナーズグループのご紹介



## FX業界におけるパイオニア

- 1999年10月、FX取り扱い業務を開始した、日本におけるFX取引のパイオニア的存在
- 2005年6月、ネット企業のインキュベーションにより、FX専門会社として独立  
(その後、2008年10月に持株会社体制へ移行。吸収分割により、全事業を新設会社である「マネーパートナーズ」に承継し、当社は「マネーパートナーズグループ」に商号変更)

## FX専業業者での上場第1号

- 2007年6月、大阪証券取引所ヘラクレス市場（※現JASDAQ市場）にFX専業業者として初の上場を実現
- 会社設立から2年での上場はヘラクレス市場最短記録

## FX業界最大手の一角

- 顧客口座数約18万口座、預り証拠金約360億円（2011年11月末現在）
- 上場FX業者としては国内トップ、未上場を含めたFX業者の中ではトップクラス
- 外資系銀行と並び、『大証FX』にマーケットメイカーとして参加

会社ロゴ



社是

# DON'T STOP!

とめない、とまらない。

## Ⅲ. 当社グループの収益構造、特徴と強み





Money Partners Group

# 当社グループの収益構造



- ① 複数のカウンターパーティ(カバー先)よりレート提示を受ける
- ② その時々最良のレートを選択し、お客様への提示レートを生成、提示する
- ③ お客様からの売買注文を受ける
- ④ お客様からの売買注文を元に、カバー先へ売買注文を執行する(カバー取引)

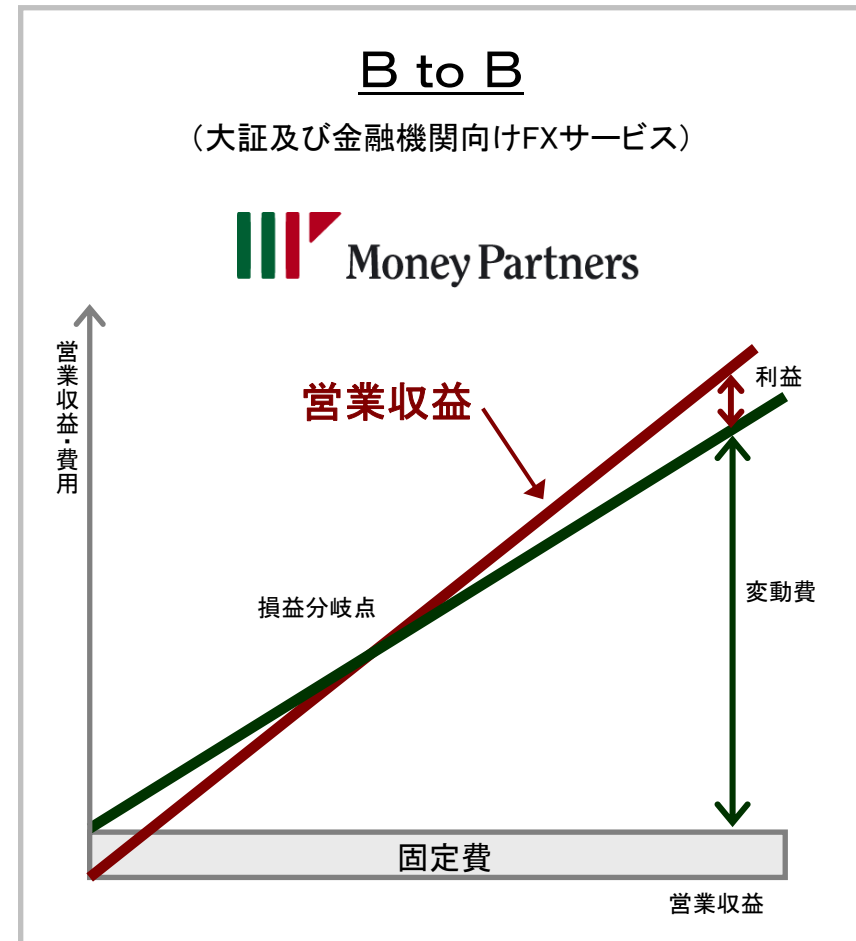
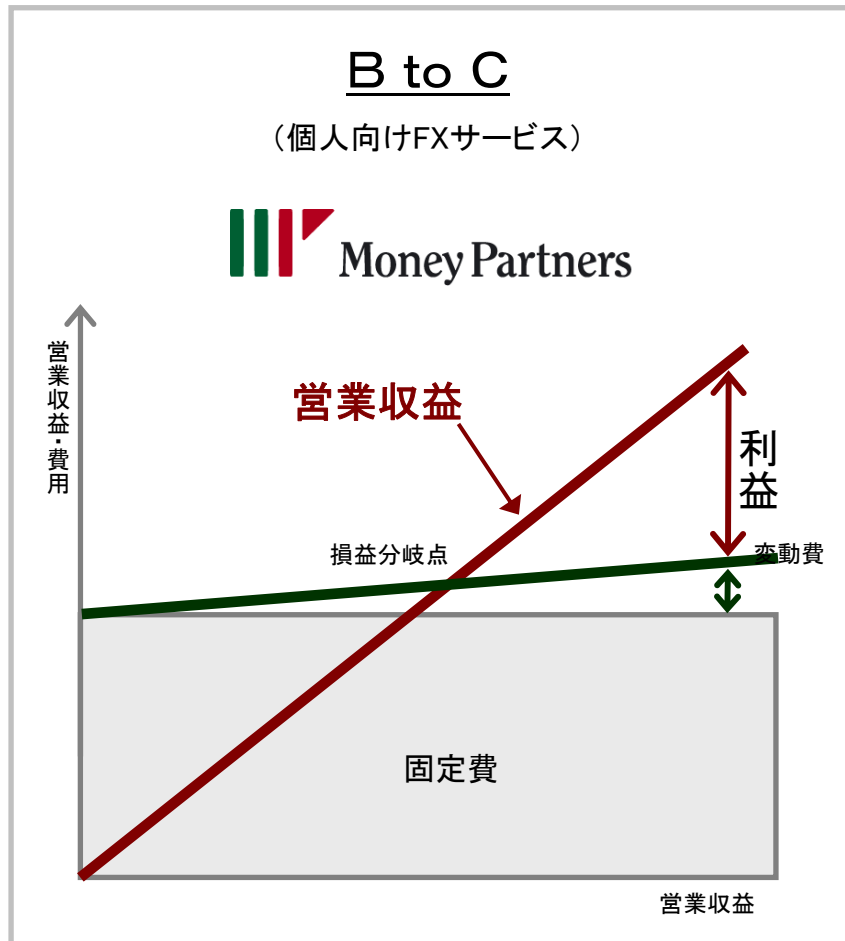
お客様との取引レートとカバー先との取引レートの差額が収益

$$80.035 - 80.026 = 0.009円$$

$$1万米ドル \times 0.009円 = \mathbf{90円}$$

※当スライドは簡略化して作成しておりますので、参考資料(スライドNO.33、34)も併せてご覧ください。

# 当社グループの利益構造



損益分岐点を超えた後は、**BtoC**の利益構造が大きく寄与し  
営業収益に比例し利益も大きくなる

## ◆3年連続『約定力』No.1を獲得！（矢野経済研究所調査結果より算出）

カタログスペックにはあらわれない顧客の“実質コスト”を考慮した商品設計  
 大手シンクタンクが主要FX業者を対象とした調査の結果「約定力NO.1」の評価を獲得



(※1) 注文を出した値段で約定せずに顧客に不利な方向にずれて約定してしまうこと、またはそのズレのこと。

(※2) 注文を出した値段で約定ができず注文がキャンセル（拒否）されてしまうこと。

## ◆証拠金100円から！『パートナーズFXnano』

最小取引単位は100通貨単位から。  
 建玉必要証拠金は100円から。

～少額から実感のあるトレードが可能。  
 デモトレードにはないリアルな体験が得られる

全通貨スプレッド1pip・無期限ロールオーバー



マネーパートナーズだけのオンリーワン※サービス

※2011年11月末現在（当社調べ）

## ◆マネパの新サービス『外貨両替・受取サービス』



成田空港内の店舗で外貨を受取れるサービスは、FX・証券取扱業者であるマネーパートナーズが、顧客サービスの一環として提供する新しい形の付帯サービスです

### 【外貨受取サービスのメリット】



※1日1回午前10時～11時の間に各銀行で決定

### 【外貨受取サービス開始後のメディア掲載】

3/28	FOREXPRESS	} 計11媒体
4/3	日経ヴェリタス	
4/4	日経新聞朝刊	
4/23	日経プラスワン	
5/25	日経新聞夕刊	
6/6	マイコミジャーナル	
6/20	日経新聞朝刊	
7/19	AllAboutマネー	
7/23	週刊ダイヤモンド	
7/27	日経新聞夕刊	
8/22	テレビ東京「WBS」	





# 差別化商品・サービス

Money Partners Group

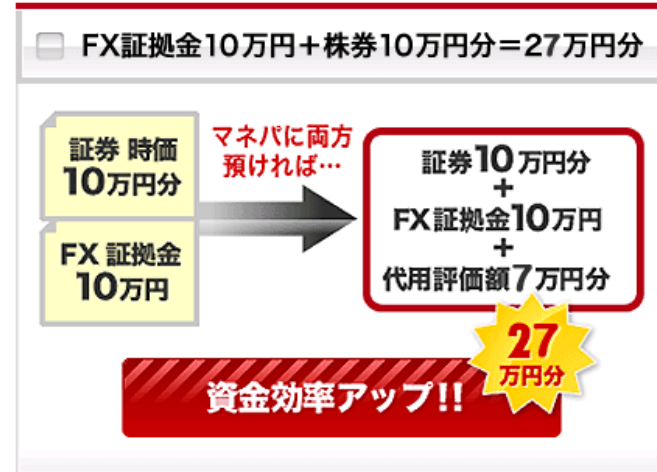
## ◆ 『証券取引、代用有価証券サービス』

- ・ 売却手数料は恒常に無料  
(口座開設後1ヶ月は買付手数料が無料となるキャンペーン実施中※)
- ・ 株式は、FX証拠金として代用が可能
- ・ 代用のままでも簡単に売却OK

7/25に代用有価証券サービスの評価掛け目を  
50%→70%へアップ!  
代用有価証券だけでFXが可能なのはマネーパートナーズのみ

※200万円以下の部分が対象。詳しくはマネーパートナーズ社HPをご覧ください。

代用有価証券を使ったFX取引のイメージ

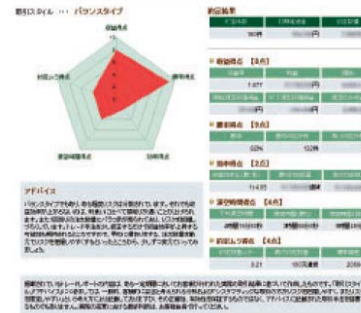


## ◆ 『CFD-Metalsサービス』



金/米ドル、銀/米ドルを対象としたCFD取引開始で  
新たな顧客層を開拓!

## ◆ 『トレードレポート』



顧客の取引を5つのポイントから分析。



“負けない”顧客を育成するための施策を強化。  
顧客の投資手法の改善を促し、継続取引の促進と離脱防止に貢献

## IV. 業績の推移

---



## 2012年3月期第2四半期 連結決算の総括とポイント

- ① 2010年8月、2011年8月の2度にわたるレバレッジ規制を越え、FX顧客層の裾野の広がりにつれ営業基盤は着実に拡大。

総口座数	175,640口座	2012/3期1Q比	4.8%増
預り証拠金	37,526百万円	2012/3期1Q比	3.3%増

- ② 第2四半期の外国為替取引高は、外国為替相場の変動率の低迷や2011年8月に実施されたレバレッジ規制の影響等により前四半期比16.7%の減少。

7-9月取引高 約2,253億通貨単位 2011/4-6月比 16.7%減

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 第2四半期（2011/7-9）の営業収益は1,922百万円（前四半期比5.2%減）経常利益は67百万円（前四半期比32.0%減）となり、外国為替取引高減少の影響を受けつつも黒字を確保。

- ④ 四半期純利益は新株予約権戻入益（特別利益）計上の影響等により、前四半期比24百万円増（前四半期比43.2%増）の80百万円となった。



# 四半期業績推移

## ■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2010/3期		2011/3期				2012/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
営業収益	2,404	2,430	2,976	2,105	1,930	1,969	2,027	<b>1,922</b>	<b>△5.2%</b>
受入手数料	0	0	0	0	0	0	3	<b>4</b>	<b>21.1%</b>
トレーディング損益	2,381	2,417	2,955	2,077	1,920	1,958	2,015	<b>1,903</b>	<b>△5.5%</b>
金融収益	4	5	6	5	4	4	3	<b>4</b>	<b>23.0%</b>
その他の売上高	18	7	13	21	5	5	4	<b>9</b>	<b>99.0%</b>
金融費用	0	2	2	2	2	14	36	<b>38</b>	<b>4.5%</b>
売上原価	10	5	8	14	3	1	1	<b>5</b>	<b>262.8%</b>
純営業収益	2,392	2,423	2,964	2,088	1,925	1,952	1,989	<b>1,878</b>	<b>△5.6%</b>
販売費・一般管理費	2,095	2,084	2,265	1,972	1,880	1,796	1,887	<b>1,801</b>	<b>△4.6%</b>
営業利益	297	339	698	115	45	156	102	<b>77</b>	<b>△24.4%</b>
経常利益	295	336	693	107	38	149	98	<b>67</b>	<b>△32.0%</b>
税金等調整前四半期純利益	295	336	671	107	△42	150	94	<b>92</b>	<b>△2.5%</b>
四半期純利益	213	195	394	59	△26	87	56	<b>80</b>	<b>43.2%</b>
営業収益経常利益率	12.3%	13.8%	23.3%	5.1%	2.0%	7.6%	4.9%	<b>3.5%</b>	

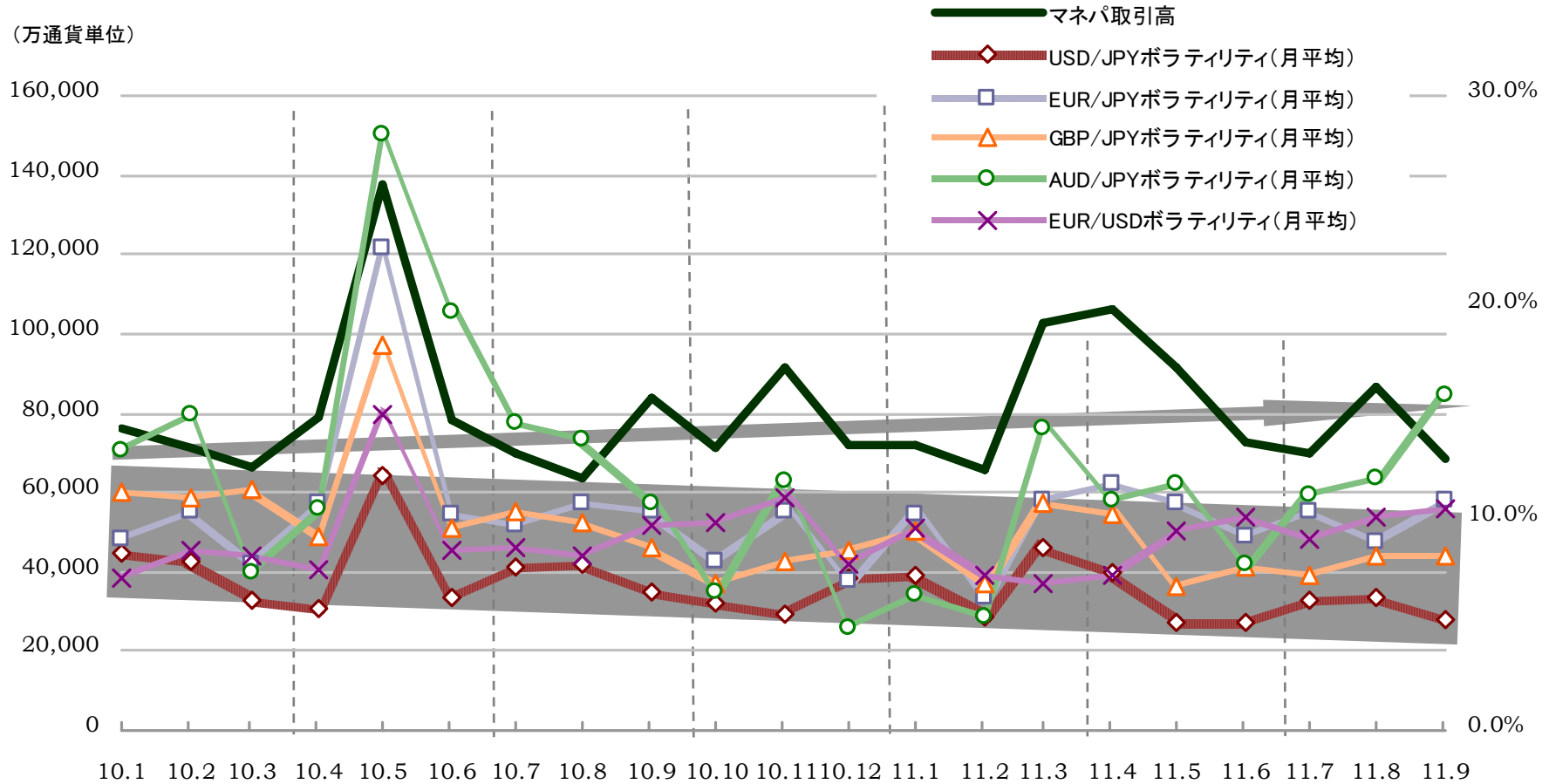
1. 営業収益は、外国為替相場の変動率低下等の影響による外国為替取引高の減少に伴い前四半期比5.2%減となったものの、概ねレバレッジ規制が始まった2011/3期2Q以降の水準を維持。
2. 経常利益も、営業収益の減少により前四半期比32.0%の減少となったものの、変動費の減少をはじめとする販管費の減少等により黒字を確保。



Money Partners Group

# 市場環境と外国為替取引高の動向

## 取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



(出所: マネーパートナーズ)

取引高は外国為替相場のボラティリティ（変動率）の影響を強く受けるものの、主要取引通貨である USD/JPYをはじめボラティリティが低下トレンドにあるなか、取引高は増加基調を維持



Money Partners Group

# 四半期販管費推移

## ■ 販管費内訳および主要費目の推移

単位: 百万円

	2010/3期		2011/3期				2012/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
取引関係費	1,247	1,220	1,369	1,079	1,010	953	973	<b>915</b>	<b>△6.0%</b>
人件費	245	239	244	240	239	222	244	<b>244</b>	<b>△0.1%</b>
不動産関係費	256	266	260	260	254	243	266	<b>248</b>	<b>△6.7%</b>
事務費	210	221	230	238	216	227	233	<b>234</b>	<b>0.1%</b>
減価償却費	112	119	116	123	129	129	124	<b>131</b>	<b>5.5%</b>
租税公課	11	1	14	13	10	0	10	<b>11</b>	<b>11.3%</b>
貸倒引当金繰入れ	△0	0	0	0	0	4	—	<b>0</b>	—
その他	11	13	28	16	18	14	34	<b>15</b>	<b>△54.0%</b>
販売費・一般管理費合計	2,095	2,084	2,265	1,972	1,880	1,796	1,887	<b>1,801</b>	<b>△4.6%</b>

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	347	344	216	237	204	132	99	<b>147</b>	<b>48.0%</b>
システム関連費用(※2)	366	387	405	422	388	391	414	<b>399</b>	<b>△3.5%</b>

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 旧経理基準における電算機費に相当します。取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

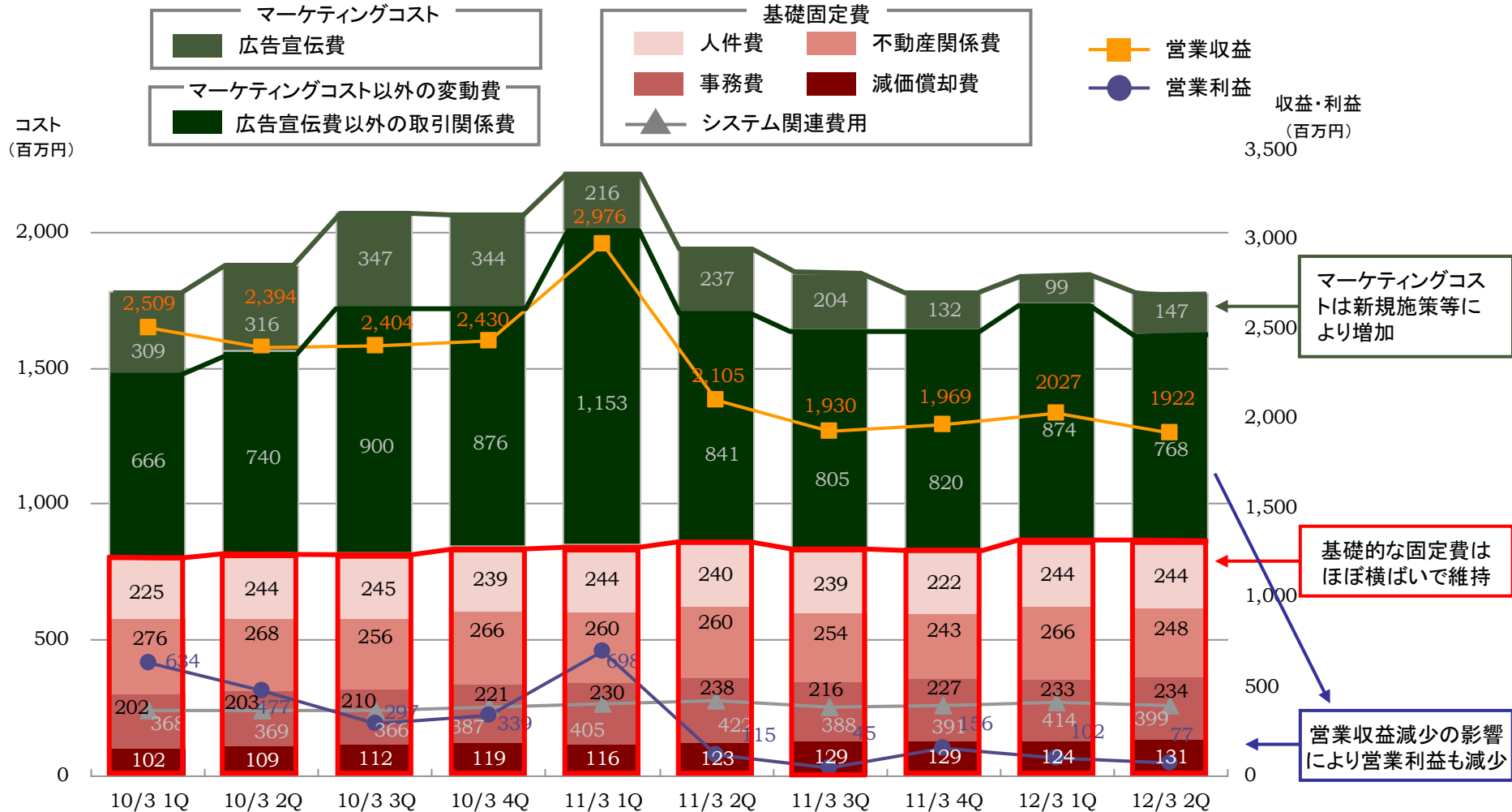
1. 取引関係費は、新規口座獲得数の拡大のための広告宣伝費の増加があったものの、外国為替取引高減少に伴う支払手数料等の変動費の減少等により前四半期比6.0%減少の915百万円となった。
2. 不動産関係費は、前四半期にデータセンター集約のための一時的費用増加の反動等により前四半期比6.7%減少の248百万円となった。



Money Partners Group

# 四半期固定費及び変動費推移

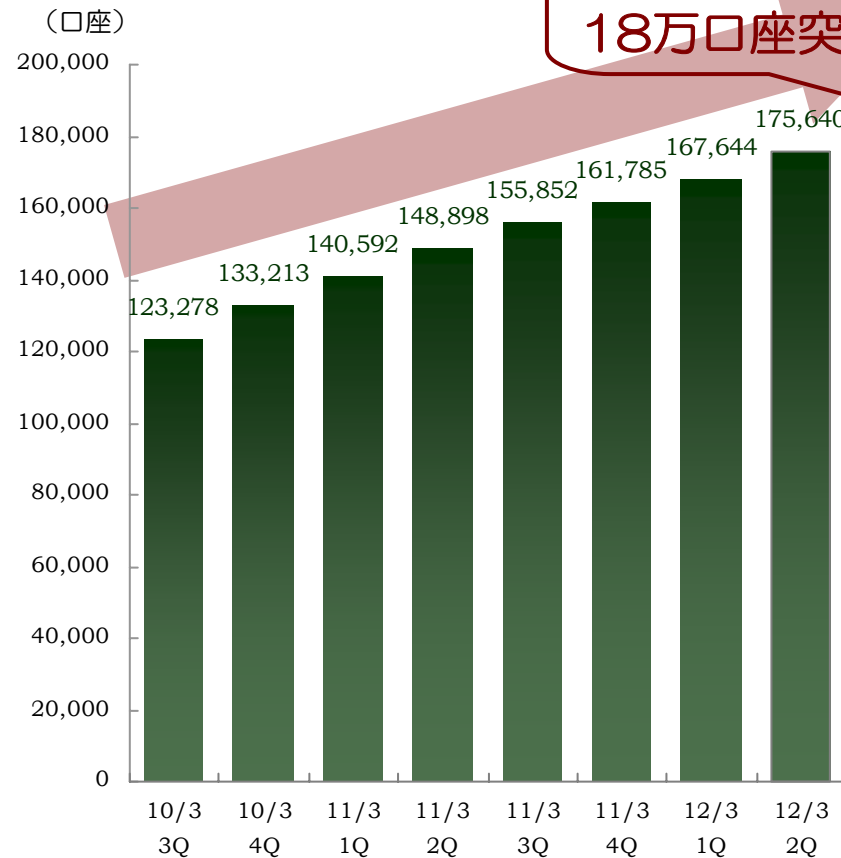
## ■ 主要な固定費・変動費の推移



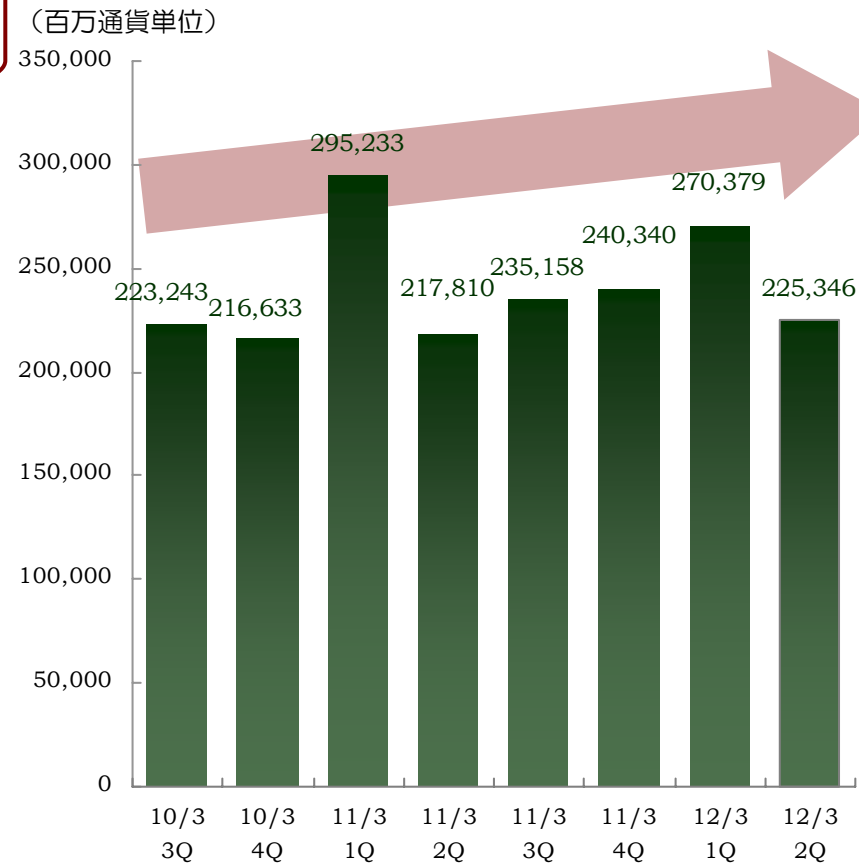
マーケティングコストが増加したものの、取引高減少に伴う変動費の減少に加え基礎固定費が減少した結果、コスト全体では前四半期比減となった。



## 取引口座の推移



## 当社グループ外国為替取引高の推移



取引口座：FX取引の拡大に伴い順調に口座数を拡大

取引高：ギリシャ危機・東日本大震災など為替変動要因のみならず、継続的な取引高拡大施策等により堅調に推移





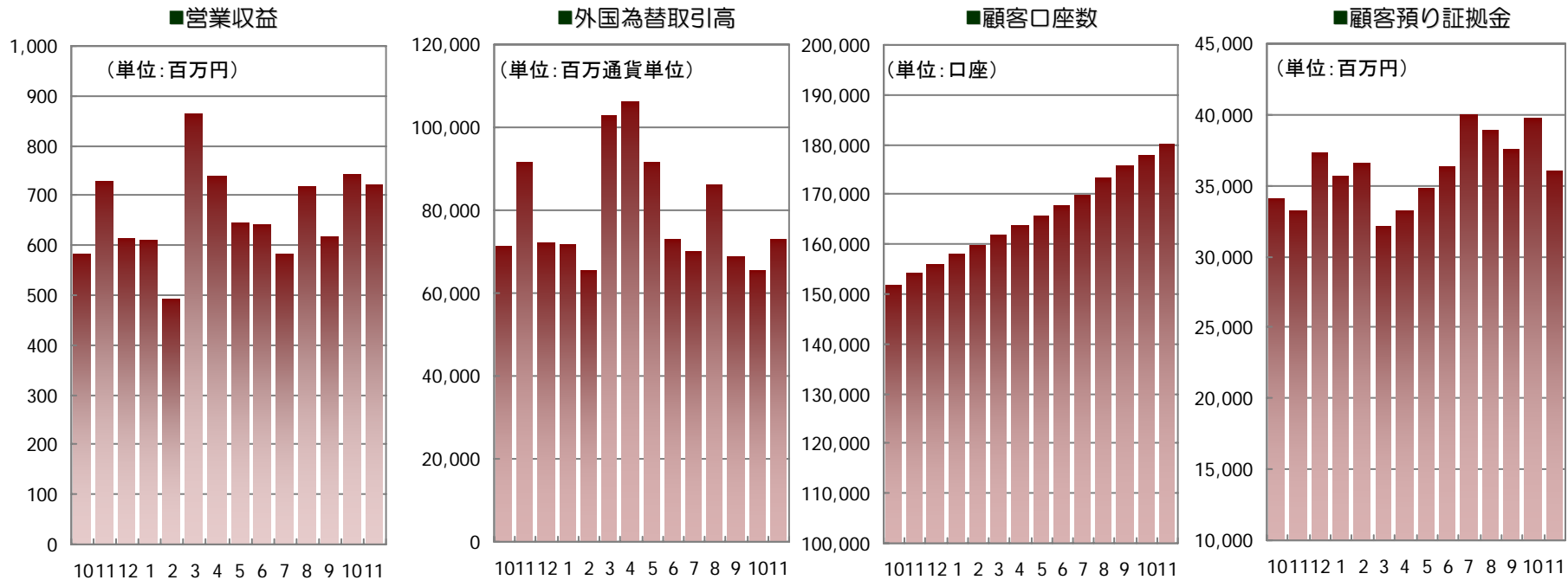
Money Partners Group

# 月次業績指標推移

## ■ 月次営業収益、取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
営業収益(百万円)	584	729	616	611	493	863	738	645	643	584	720	617	744	721
取引高(百万通貨単位)	71,247	91,748	72,162	71,791	65,614	102,934	106,089	91,504	72,784	70,070	86,419	68,855	65,476	73,015
顧客口座数(口座)	151,789	154,260	155,852	157,862	159,773	161,785	163,794	165,636	167,644	169,764	173,298	175,640	177,820	180,145
顧客預り証拠金(百万円)	34,136	33,271	37,244	35,725	36,498	32,152	33,195	34,799	36,317	39,932	38,851	37,526	39,751	36,029

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



レバレッジ規制や外国為替相場の変動率低下の影響を受けつつも、顧客基盤、外国為替取引高とも堅調に推移

## V. 経営戦略

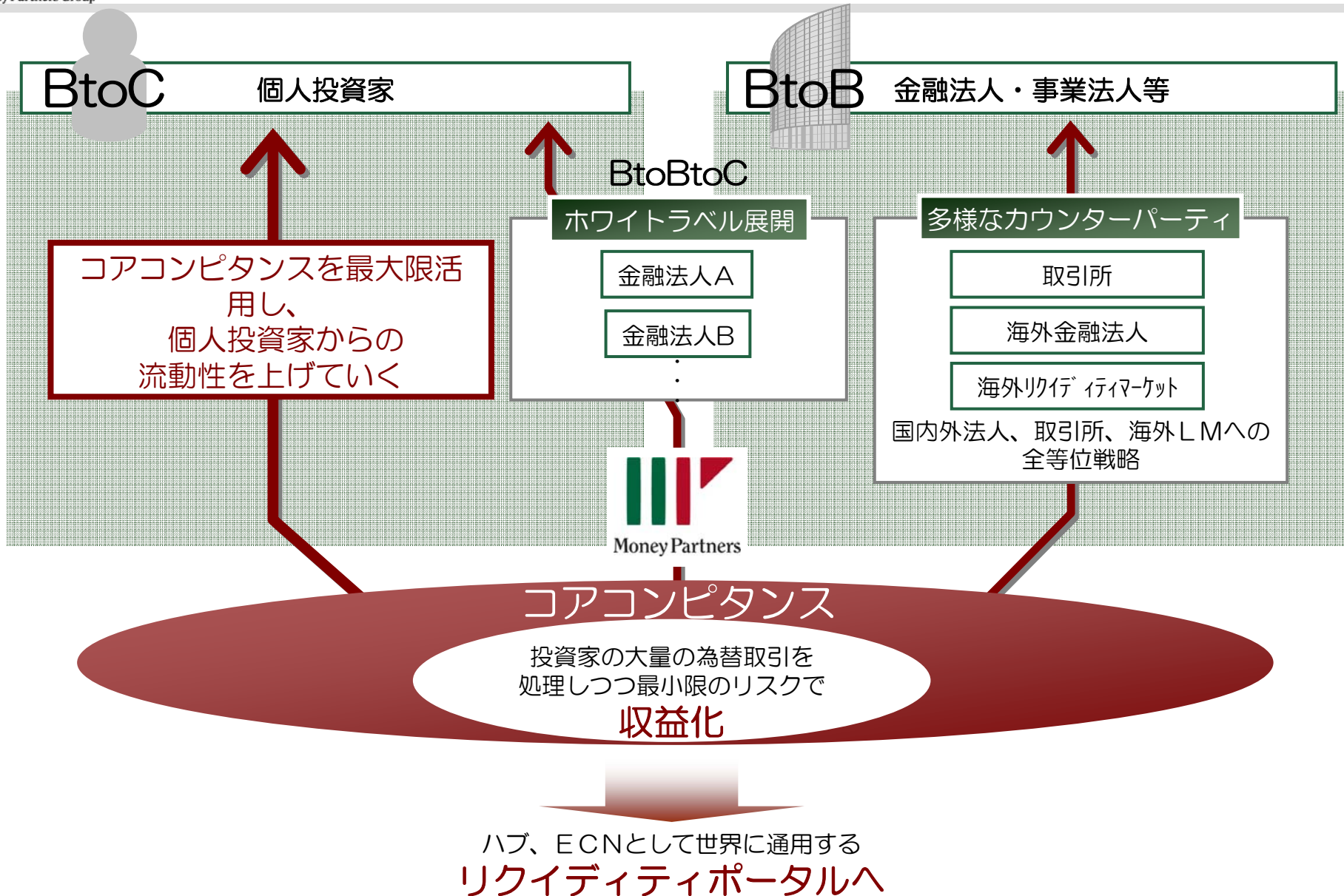
---

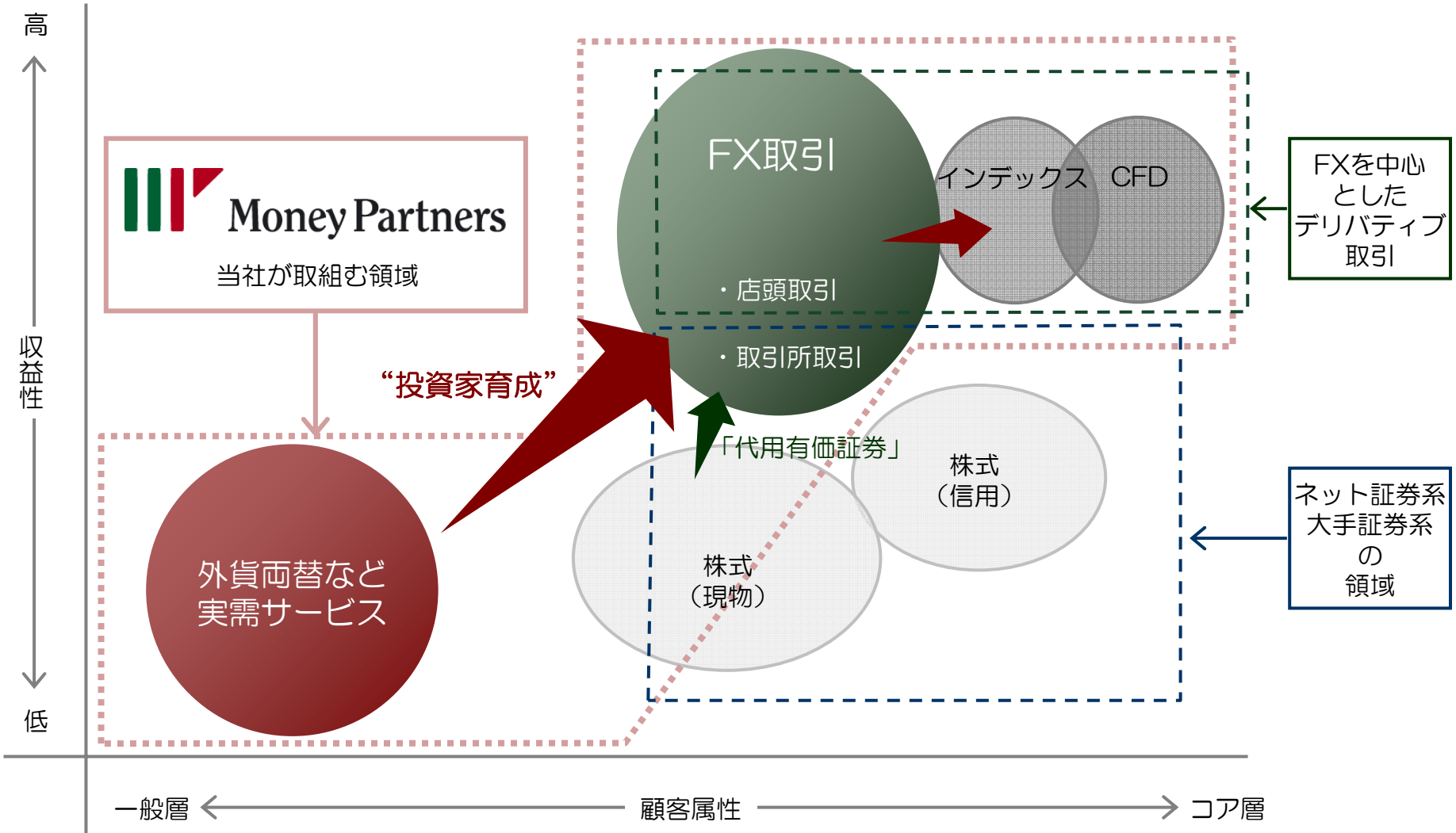




Money Partners Group

# コアコンピタンスと目指すべき方向性





実需層への取組みを推進し、広く一般の投資家にも利用してもらえるFX会社を目指す

## VI. 当社の経営目標及び株主還元について



## ROE及び営業収益経常利益率の早期回復

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率（ROE）及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ 2012年3月期第2四半期（2011年7～9月）のROEは3.4%

※：四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。  
ROE（年換算）＝（四半期純利益×4）÷（（四半期期首自己資本＋四半期期末自己資本）÷2）×100

▶ 2012年3月期第2四半期（2011年7～9月）の営業収益経常利益率は3.5%

営業収益の回復を早期に実現することにより、ROE、営業収益経常利益率の回復を目指して参ります。

## 業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

### 利益還元方針

配当性向：連結当期純利益の30%を目処

配当機会：中間及び期末（年2回）

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げによる利益還元の強化と、年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図り、株主利益の最大化を目指してまいります。

	2011年3月期				2012年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	394	59	△26	87	56	80		
配当金の総額 (百万円)	139		30		30			
期末発行済 株式総数(株)	321,480 (内、自己株式10,623)		321,480 (内、自己株式20,023)		321,480 (内、自己株式20,023)			
1株当たり 配当金	450円		100円		100円			

## 参考資料



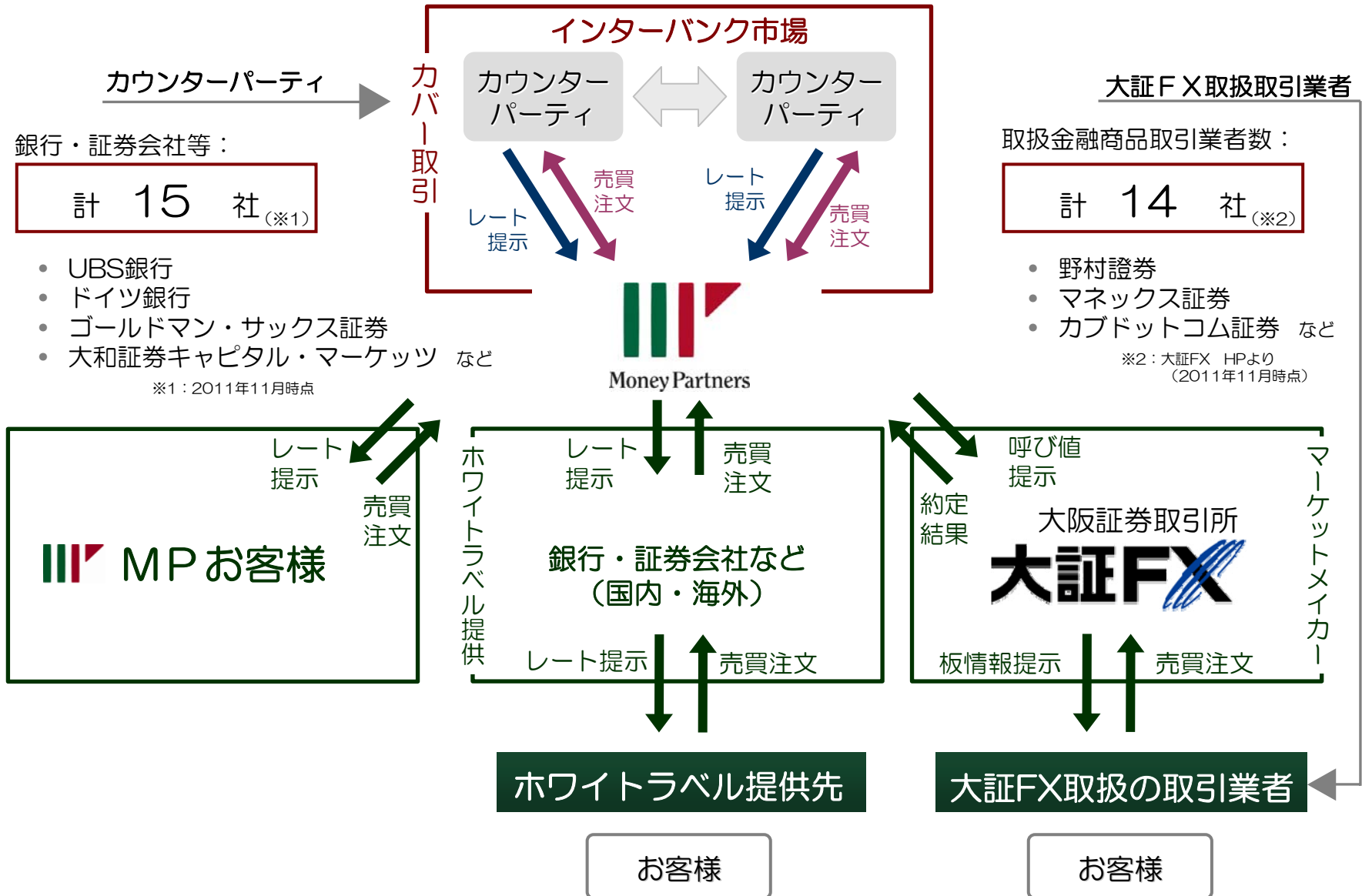
収益構造  
グループ概要





Money Partners Group

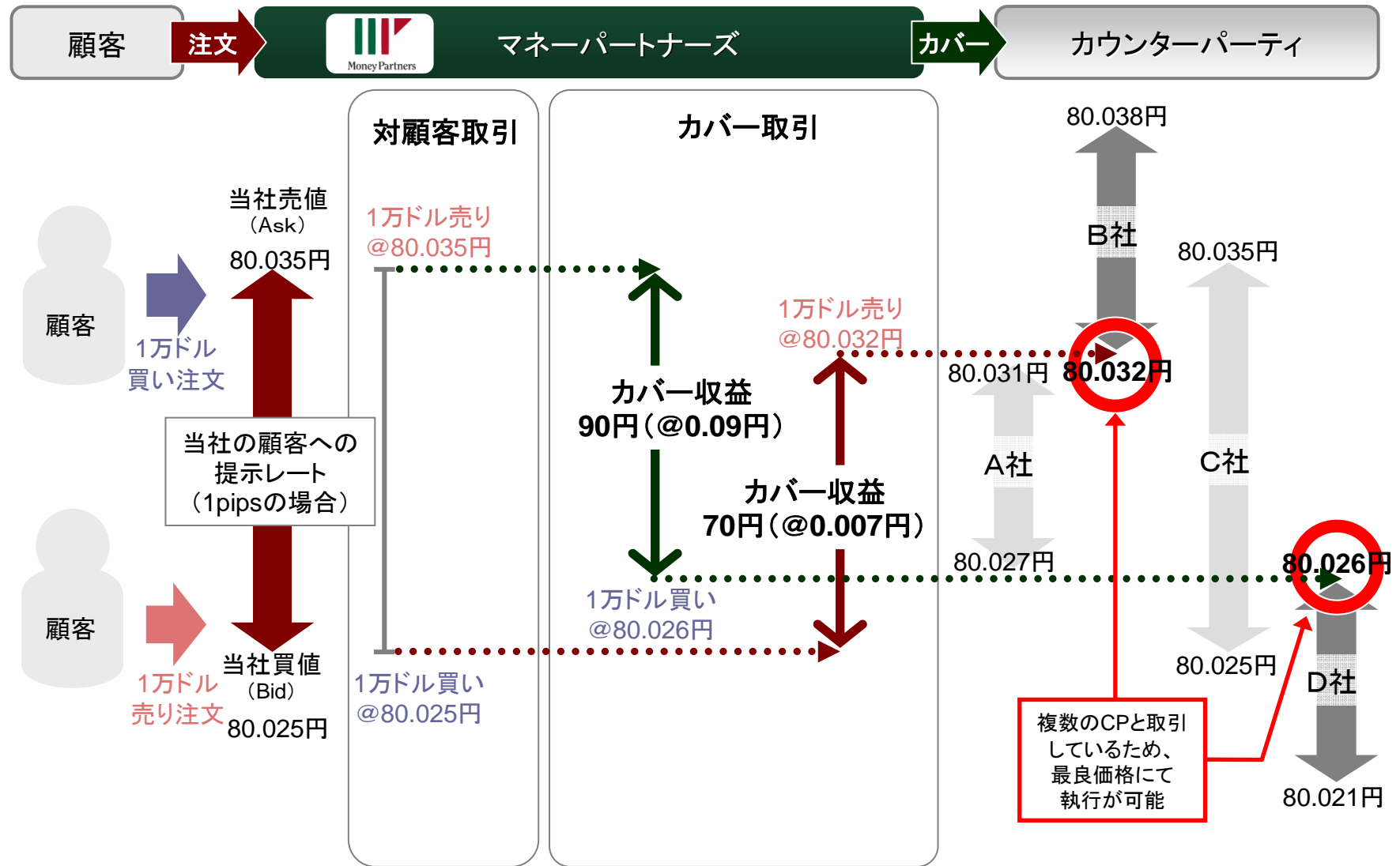
# 当社グループの収益構造（ご参考）





Money Partners Group

# 当社グループの収益構造（ご参考）



- 商号 株式会社マネーパートナーズグループ
- 本社 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
- 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 17億86百万円
- 純資産 95億28百万円
- 発行済株式総数 321,480株



## ■ 当社グループの事業内容

### 株式会社マネーパートナーズ（100%子会社）

加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

登録番号：関東財務局長（金商）第2028号

事業内容：

- (1) 金融商品取引法に規定する第一種および第二種金融商品取引業
- (2) 外貨両替業務
- (3) 商品先物取引業

### 株式会社マネーパートナーズソリューションズ（100%子会社）

事業内容：

- (1) 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計、開発、販売、賃貸および保守
- (2) 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング
- (3) 前各号に関連する企画、調査、研究、コンサルティング及びこれに付帯関連する一切の業務



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、2011年12月18日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2011年12月18日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

#### 取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXIについては、受渡取引および電話での決済注文に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コース(パートナーズFXのみ)の場合、1万通貨単位あたり5千円から2万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約100倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.5%の手数料(消費税別)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会